

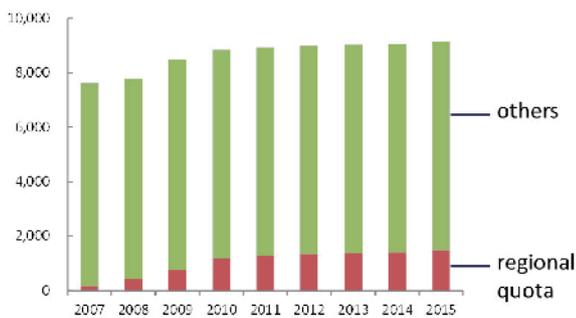
## ミッション②

地域医療課題の調査・研究：地政学的特性や地域住民の受療行動の把握など

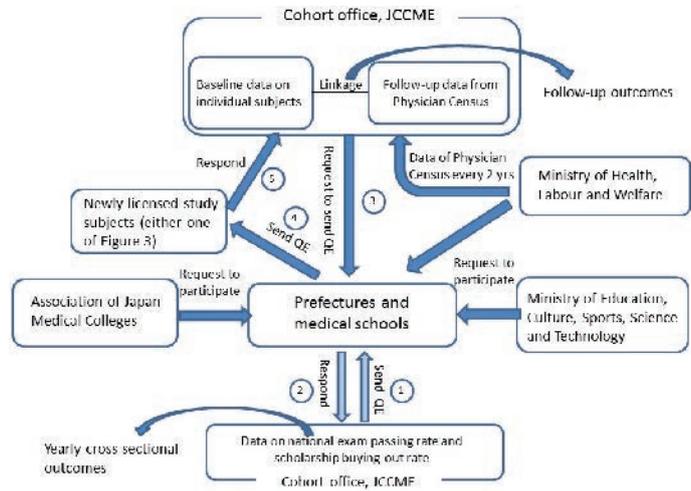
### A 研究内容と成果

#### ①地域枠出身医師の進路に関するコホート研究

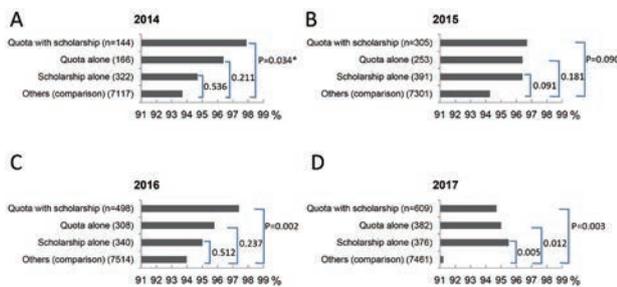
文部科学省、厚生労働省、全国医学部長病院長会議の協力のもと、全国地域医療教育協議会（全国48大学の地域医療関連講座が加盟）の「地域枠出身医師の進路に関するコホート研究」の研究本部として、全国の大学医学部・医科大学に所属する地域枠学生、および都道府県の奨学金受給医学生の進路を追跡



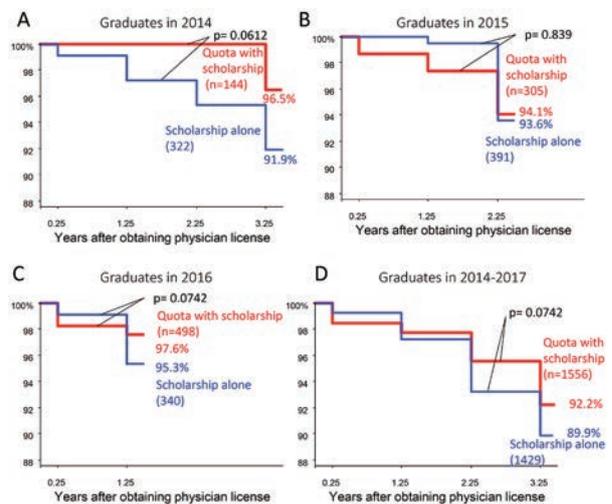
地域枠入学者数の推移  
(BMJ Open 6: e011165, 2016)



地域枠コホートの研究デザイン  
(BMJ Open 6: e011165, 2016)



地域枠出身者の医師国家試験合格率  
(BMJ Open 7: e019418, 2017)



地域枠出身者と奨学金受給者の卒後義務履行率  
(BMJ Open 7: e019418, 2017)

する研究を進めています。現在までに4か年分、1,500名の地域枠医師・奨学金受給医師のベースラインデータを収集しました。今後、厚生労働省の「医師・歯科医師・薬剤師調査」の個票データとリンクさせることで進路（特に地理的分布）をフォローアップしていく予定です。

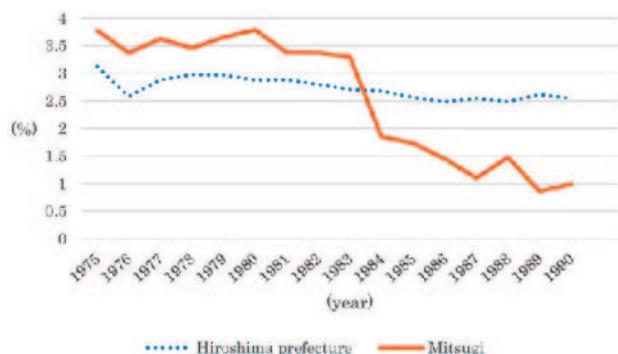
平成28年度と平成29年度は全国の都道府県と大学に行った横断調査の結果を論文として発表しました。

### ②全国医学部長病院長会議「地域における医師養成の在り方に関する調査実施委員会」

全国医学部長病院長会議「地域における医師養成の在り方に関する調査実施委員会」の委員を松本が務め、全国の大学医学部・医科大学、都道府県、地域医療支援センターに対してアンケート調査を行い、地域枠制度の現状に関するデータを収集いたしました。結果を報告書としてまとめました。

### ③その他研究

専門医療の集約化や専門医のキャリア選択に関する研究、東日本大震災の被災地からの医師流出に関する研究、糖尿病や高血圧の疫学研究、公立みつぎ総合病院の地域包括ケアシステムが国の医療政策に与えた影響の研究、新専門医制度下での総合診療専門研修プログラムの現状に関する調査研究などを行い、それぞれ結果を論文として発表いたしました。



在宅寝たきり高齢者率の推移  
(Int J Integr Care 17 (2): 1-9, 2017)



1981: The special nursing home and the rehabilitation centre had been constructed



1989: The geriatric health care facility had been established



1993: The care house had been constructed



2002: The group home for elderly people with dementia had been established

みつぎにおける地域包括ケア施設の拡張  
(Int J Integr Care 17 (2): 1-9, 2017)

# B 2016-2018年研究実績一覧

(2016-2018合計インパクトファクター 37.805)

## ■ 原著論文

1. Koike S, **Matsumoto M**, Ide H, Kashima S, Atarashi H, Yasunaga H. The effect of concentrating obstetrics services in fewer hospitals on patient access: a simulation. *Int J Health Geogr* 15: 4, 2016
2. **Matsumoto M**, Takeuchi K, Tanaka J, Tazuma S, Inoue K, Owaki T, Iguchi S, Maeda T. Follow-up study of the regional quota system of Japanese medical schools and prefecture scholarship programmes: a study protocol. *BMJ Open* 6: e011165, 2016
3. Koike S, Shimizu A, **Matsumoto M**, Ide H, Atarashi H, Yasunaga H. Board-certified surgeons' career pathways in Japan. *Surg Today* 46 (6): 661-7, 2016
4. Hoshide S, Yano Y, Haimoto H, Yamagiwa K, Uchiba K, Nagasaka S, Matsui Y, Nakamura A, Fukutomi M, Eguchi K, Ishikawa J, Kario K; **J-HOP Study Group**. Morning and evening home blood pressure and risks of incident stroke and coronary artery disease in the Japanese general practice population: the Japan Morning Surge-Home Blood Pressure Study. *Hypertension*. 68 (1): 54-61, 2016
5. **Matsumoto M**, Mizooka M, Tazuma S. General practice departments of university hospitals and certified training programs for general practitioners in Japan: a nationwide questionnaire survey. *J Gen Fam Med*. 00: 1-5, 2017
6. Kashima S, Inoue K, **Matsumoto M**. Characteristics of physician outflow from disaster areas following the Great East Japan Earthquake. *PLoS One* 12 (1): e0169220, 2017
7. Kashima S, Inoue K, **Matsumoto M**, Akimoto K. Low serum creatinine level is a type 2 diabetes risk factor in men and women: Yuport Health Checkup Center Cohort Study. *Diabetes Metab* 43, 460-464, 2017.
8. Hatano Y, **Matsumoto M**, Okita M, Inoue K, **Takeuchi K**, Tsutsui T, Nishimura S, Hayashi T. The Vanguard of Community-based Integrated Care in Japan: The Effect of a Rural Town on National Policy. *Int J Integr Care* 17 (2): 1-9, 2017
9. Koike S, **Matsumoto M**, Ide H, Kawaguchi H, Shimpo M, Yasunaga H. Internal medicine board certification and career pathways in Japan. *BMC Med Educ* 17: 83, 2017
10. Kashima S, Inoue K, **Matsumoto M**. Have the tsunami and nuclear accident following the Great East Japan Earthquake affected the local distribution of hospital physicians? *PLoS One* 12 (5): e0178020, 2017
11. **Matsumoto M**, Takeuchi K, Owaki T, Iguchi S, Inoue K, Kashima S, Tazuma S, Maeda T. Results of physician license examination and scholarship contract compliance by the graduates of regional quotas in Japanese medical schools: a nationwide cross-sectional survey. *BMJ Open* 7: e019418, 2017
12. 井上和男、鹿嶋小緒里、松本正俊、竹内啓祐. : 最寄りの一・二次医療機関までの道路距離は地域指標とどのように関連しているか：三次医療圏およびへき地小地区での分析 へき地・離島救急医療学会誌 15 : 8-14, 2017
13. Hatano Y, Haruma K, Kamada T, Shiotani A, Takahari K, **Matsumoto M**, Uchida O. Factors associated with gastric black spot, white flat elevated mucosa, and cobblestone-like mucosa: a

cross-sectional study. *Digestion* (in press)

14. Matsumoto M, Kimura K, Inoue K, Kashima S, Koike S, Tazuma S. Aging of hospital physicians in rural Japan: a longitudinal study based on national census data. *PLoS One* (in press)

## ■ 総説論文、症例報告論文

1. 竹内啓祐：超高齢社会の医療—地域包括ケア時代の在宅医療—。 *広島医学*69 (2): 111–5, 2016
2. Takamura, A., Matsumoto, M., Ishikawa, S. Rural health in Japan: past and future. *Rural Remote Health* 17: 4521, 2017
3. 松本正俊、石田亮子、木村一紀、田妻進：わが国における病院総合診療医数とその分布について：公的データに基づく推計 *日本病院総合診療医学会雑誌* 13 (3): 61–64. 2017.
4. Kimura K, Mizooka M, Migita K, Ishida R, Matsumoto M, Yamasaki S, Kishikawa N, Kawahara A, Kikuchi Y, Otani Y, Kobayashi T, Miyamori D, Ikuta T, Nakamura H, Yokobayashi K, Iwamoto S, Kanno K, Ohira H, Tazuma S. Five cases of familial Mediterranean fever in Japan: relationship with MEFV mutations. *Internal Med.* (in press)

## ■ 競争的外部研究費獲得

代表研究者として

1. 平成28年度文部科学省科学研究費補助金「地域枠出身医師の進路に関するコホート研究」(基盤C：代表松本正俊) 104万円
2. 平成29年度文部科学省科学研究費補助金「地域枠出身医師の進路に関するコホート研究」(基盤C：代表松本正俊) 117万円
3. 成30年度～34年度(内定) 文部科学省科学研究費補助金「地域枠出身医師の進路に関するコホート研究とエビデンスに基づく政策の提案」(基盤C：代表松本正俊) 429万円

## ■ 分担研究者として

1. 平成28年度文部科学省科学研究費補助金「新医師臨床研修制度は医師分布を改善したか—人口地理指標・診療科・施設からの分析」(基盤C：代表帝京大学井上和男、分担松本正俊)
2. 平成28年度厚生労働省科学研究費補助金(厚生労働科学特別研究事業)「ニーズに基づいた専門医の養成に係る研究」(代表自治医科大学小池創一、分担松本正俊)
3. 平成29年度文部科学省科学研究費補助金「新医師臨床研修制度は医師分布を改善したか—人口地理指標・診療科・施設からの分析」(基盤C：代表帝京大学井上和男、分担松本正俊)
4. 平成29年度厚生労働省科学研究費補助金(地域医療基盤開発推進研究事業)「ニーズに基づいた専門医の養成に係る研究」(代表自治医科大学小池創一、分担松本正俊)
5. 平成30年度(内定) 文部科学省科学研究費補助金「新医師臨床研修制度は医師分布を改善したか—人口地理指標・診療科・施設からの分析」(基盤C：代表帝京大学井上和男、分担松本正俊)
6. 平成30年度(内定) 厚生労働省科学研究費補助金(地域医療基盤開発推進研究事業)「へき地医療の向上のための医師の働き方およびチーム医療の推進に係る研究」(代表自治医科大学小谷和彦、分担松本正俊)
7. 平成30年度(内定) 厚生労働省科学研究費補助金(地域医療基盤開発推進研究事業)「ニーズに基づいた専門医の養成に係る研究」(代表自治医科大学小池創一、分担松本正俊)

## ■ 報告書

1. 全国医学部長病院長会議（AJMC）調査委員会（松本正俊他9名）：平成27年度地域枠入学制度と地域医療支援センターの実情に関する調査報告 AJMC発行 2016
2. 全国医学部長病院長会議（AJMC）調査委員会（松本正俊他9名）：平成28年度地域枠入学制度と地域医療支援センターの実情に関する調査報告 AJMC発行 2017

## ■ 学術誌編集

2010年から学術誌Rural and Remote Healthのアジア地区編集長(Asian Regional Editor)を松本が務め、アジア地区からの投稿論文の採否決定を行った。また2016年から日本プライマリ・ケア学会の英文誌Journal of General and Family Medicineの編集委員（Associate Editor）も松本が務めている。

## ■ 招待講演等

1. 竹内啓祐：この街で最期まで安心して暮らすために～私たちができること～ 中区地域包括ケアフォーラム（広島国際会議場）（平成28年5月21日）
2. 松本正俊、田妻進：大学病院総合診療部門による総合診療専門医養成プログラムに関する調査 第16回全国大学病院総合診療部門連絡協議会（広島市）（平成28年7月7日）（招待講演）
3. 竹内啓祐：医師確保に関する動向 広島県診協平成28年度医師等確保対策研究協議会（広島市）（平成28年7月28日）
4. 服部文子：認知症を理解する講座（神石高原町）（平成28年9月6日、27日）（招待講演）
5. 竹内啓祐：訪問介護への期待 ー地域包括ケアシステムを地域に繋げるためにー 介護福祉士講演会（広島市）（平成28年9月7日）
6. 竹内啓祐：見守りと支え合いであったかくて元気な地域をつくろう 神石講演会（広島県神石高原町）（平成28年11月8日）
7. 竹内啓祐：地域包括ケア時代の地域医療ー薬剤師の関わりについてー 広島県精神科病院協会薬剤師部会学術大会（広島市民病院）（平成29年1月29日）
8. 竹内啓祐：超高齢社会の医療ー地域包括ケア時代の在宅医療ー 退院支援に関する職員研修会（広島大学病院）（平成29年2月20日）
9. 竹内啓祐：各大学からの事例紹介「地域医療に貢献する医師確保に向けて」 第7回中四国地域医療フォーラム（徳島市）（平成29年2月25日）（招待講演）
10. 松本正俊：地域枠出身医師のコホート研究について 日本医学教育学会地域医療教育委員会 地域医療教育講演会（京都市）（平成29年3月18日）（招待講演）
11. 松本正俊：地域枠入学制度のアウトカムについて 第8回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会シンポジウム「地域医療と総合診療」（高松市）（平成29年5月13日）（招待講演）
12. 松本正俊：医師の偏在、広島大学での地域診療教育 第17回愛媛プライマリ・ケア研究会（松山市）（平成29年7月1日）（招待講演）
13. 松本正俊：地域枠入学制度のアウトカムについてー地域医療教育のエビデンスを交えて 奈良県立医科大学医学教育フォーラム（橿原市）（平成29年9月1日）（招待講演）
14. 服部文子：認知症を理解し、地域で見守るために（神石高原町）（平成29年9月20日）（招待講演）
15. 松本正俊：地域枠制度のアウトカムについて：全国および広島県の状況 全国医学部長病院長会議地域枠制度についての意見交換会（中国・四国ブロック）（広島市）（平成29年9月30日）（招待講演）
16. 松本正俊：地域枠制度のアウトカムについて：全国および広島県の状況 全国医学部長病院長会議地域枠制度についての意見交換会（近畿ブロック）（京都市）（平成29年12月9日）（招待講演）

17. 松本正俊：地域枠制度のアウトカムについて：全国および広島県の状況 全国医学部長病院長会議 地域枠制度についての意見交換会（九州沖縄ブロック）（福岡市）（平成29年12月23日）（招待講演）
18. 松本正俊：新専門医制度下の地域枠出身者のキャリア形成：広島大学の取り組み 第8回中四国地域医療フォーラム（山口市）（平成30年2月10日）（招待講演）

## ■ 学会発表

1. 松本正俊、竹内啓祐、井上和男、大脇哲洋、井口清太郎、前田隆浩：地域枠出身者や奨学金受給者の国家試験合格率は高い：全国コホート調査の中間報告 第48回日本医学教育学会（大阪市）（平成28年7月29日）
2. 松本正俊、小池創一、鹿嶋小緒里：画像診断機器および放射線科医の数と地理的分布について 第75回日本公衆衛生学会（大阪市）（平成28年10月27日）
3. 松本正俊、井上和男、鹿嶋小緒里、小池創一：へき地における病院勤務医師の高齢化について 第76回日本公衆衛生学会（鹿児島市）（平成29年11月1日）

## ■ 座長、司会等

1. 松本正俊：第14回日本病院総合診療医学会学術総会（岡山市）（平成29年3月4日）（一般演題座長）
2. 松本正俊：第8回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会（高松市）（平成29年5月13日）（一般演題座長）
3. 松本正俊：全国医学部長病院長会議地域枠制度についての意見交換会（中国・四国ブロック）（広島市）（平成29年9月30日）（実行委員・座長・司会）
4. 松本正俊：全国医学部長病院長会議地域枠制度についての意見交換会（東北・北海道ブロック）（盛岡市）（平成29年10月21日）（実行委員・座長・司会）
5. 松本正俊：全国医学部長病院長会議地域枠制度についての意見交換会（東海・北陸ブロック）（名古屋市）（平成29年11月11日）（実行委員・座長・司会）
6. 松本正俊：全国医学部長病院長会議地域枠制度についての意見交換会（関東ブロック）（東京都）（平成29年11月28日）（実行委員・座長・司会）
7. 松本正俊：全国医学部長病院長会議地域枠制度についての意見交換会（近畿ブロック）（京都市）（平成29年12月9日）（実行委員・座長・司会）
8. 松本正俊：第21回藝州北部ヘルスケアネットワーク（Ge-net）広島地域医療講演会（広島市）（平成29年12月16日）（座長）
9. 松本正俊：全国医学部長病院長会議地域枠制度についての意見交換会（九州沖縄ブロック）（福岡市）（平成29年12月23日）（実行委員・座長・司会）
10. 松本正俊：平成29年度広島市在宅医療・介護連携推進事業におけるかかりつけ医等在宅医療推進研修会（広島市）（平成30年1月25日）（座長・シンポジウム司会）
11. 松本正俊：第16回日本病院総合診療医学会学術総会（別府市）（平成30年3月2日）（座長）

## ■ コース開催

1. 服部文子：第14回神石ICLSコース 神石高原町（平成28年10月）
2. 服部文子：第15回神石ICLSコース 神石高原町（平成29年8月26日）